

市政ニュース 速報版

日本共産党 岡山市議団

2012年5月15日

No.149 修正版

岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

産廃処分場
建設反対

市民の飲み水、御津の豊かな自然を守ろう

駅前宣伝、デモ行進、集会に200人

市長は建設許可を
取り消せ！！

現在、岡山市北部の山中には6か所の産業廃棄物処分場があり、さらに3つの新たな処分場建設計画が進行中です。そこから流れ出した汚水は、岡山市民のうちおよそ42万人分の飲料水を供給している旭川水系に流れ込みます。3つの計画のうち虎倉(こぐら)について建設許可がすでに出され、河内(こうち)や長野でも手続きが進んでいます。

市議会では建設中止を求める請願を2度にわたって採択しています。市長は市民代表の総意を尊重すべきです。

この進行中の計画をストップさせて、市民の飲み水、御津の豊かな自然を守ろうと「岡山市の産廃問題を考える会」が5月15日、市内で宣伝、デモ行進、集会を開き、200人以上の市民が参加しました。

小雨の降りしきる中、高島屋前でチラシを配り、そのあと市役所までデモ行進して「市長は建設許可をするな!」「市長は建設許可を取り消せ!」と市民にアピールしました。大供公園では集会を行い、集会宣言を採択して岡山市産廃対策課に提出しました。



5・15産廃反対統一行動集会宣言(抜粋)

- ・岡山市北部の水源地域への産業廃棄物処分場建設は許さず、豊かな自然環境ときれいな飲料水を守ることによって、市民全体の利益を図ること。
- ・市民の代表たる議会の意思を尊重し、御津河内産廃処分場建設を許可しないこと。
- ・市民の代表たる議会の意思を尊重し、御津虎倉産廃処分場建設許可を取り消すこと。



高島屋前でチラシ配布



御津の住民も集結



思い思いのプラカードを